

世界の現状や SDGsについてより知ってより考えよう

28

所 属	岐阜県立可児高等学校	実践者	栗原 遥
対 象	高校 1 年生（40 名）	実践日	2024 年 1 月
実践教科	地理歴史	時間数	2 時間
ねらい	・世界の国々の多様な文化・生活様式について知り、多様性を受け入れる ・世界が抱える課題とそれに対する解決策をさまざまな視点から考える ・仲間とともに、前向きにかつ自分ごととして SDGs を捉える		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1	世界の現状を把握する ①アイスブレイキング 国名アイウエオ →自分たちが書いた国について白地図にチェックをいれる ②世界のことを知る一国当てクイズ 国当てクイズ世界各国の学校や食事などの写真から、国名を当てる <u>気づき・学び</u> 多様性の存在、多様性が存在することによるおもしろみ ③世界のことを知る一世界がもし100人の村だったらワーク 世界の実態を知り、諸課題に目を向ける <u>気づき・学び</u> 困難な環境で生活をしている人々の存在、世界における格差	4～5人のグループ 隊形で実施 <u>用意したもの</u> ・紙(大・A3) ・白地図(世界) ・付箋 ・ペン ・各種ワークシート
	2	SDGsについて理解する ①SDGs ゴール解説 1人3～4つのゴールについて、世界の現状とゴールの意義を解説する <u>気づき・学び</u> SDGsとはなにか、世界の現状と課題 ②課題が達成できない社会を考える 各グループで任意のゴールを選び、そのゴールが達成できていない社会において想定されることを書き込む【派生図】 →回し読みをして、他グループの派生図を確認する(興味深いものや良い視点のものについては「♡」を記入) ③日本・可児高・自分、それぞれの立場でできることを考える 上で選んだゴールについて、ゴール達成のために行動できることを考え、表に記入する <u>気づき・学び</u> 世界の課題と自身の生活とのつながり ④感想記入 学びになったこと・取り組んだ感想をそれぞれ付箋に書く	
成 果	生徒は大変意欲的で、仲間とともに考えることで新たな視点を獲得し、活発な意見交流を行っていた。また、多様性あふれる世界について、興味関心をもって受け入れている様子であった。生徒の感想のなか「知識が増えることで、日々の中で面白いと感じられることが増えそう」というものがあり、今回の授業が学習意欲向上に繋がれたことも有意義であった。		
課 題	2回目の①「課題が達成できない社会について考える」派生図作成と、②「それぞれの立場でできることを考える」については、選択したゴールによってはやりにくさを感じるものもあり、助言が必要な様子であった。		
備 考	【参考】 国際連合広報センター. “SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは？ 17 の目標ごとの説明、事実と数字”. 2019 年 1 月. https://www.un.org/ja/news_press/features_backgrounder/31737/ (参照 2024 年 1 月)		